

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 4 年 5 月 26 日(2022.5.26)

【公開番号】特開 2021-227(P2021-227A)  
 【公開日】令和 3 年 1 月 7 日(2021.1.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2021-001  
 【出願番号】特願 2019-114989(P2019-114989)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 18 日(2022.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に設けられた始動口への遊技球の入球に起因して所定の乱数を抽出し、抽出した乱数を保留記憶として所定の上限数まで記憶する保留記憶生成手段と、前記乱数に基づいて当否判定を行う当否判定手段と、該当否判定手段による当否判定の結果が当りの場合に大入賞口を開放する当り遊技を実行する当り遊技制御手段と、相互に異なる複数の前記当選確率を備え、確率設定スイッチの操作に基づいていずれか一の当選確率を設定する確率設定手段とを備えてなる弾球遊技機において、  
 前記乱数を前記当否判定手段よりも前に判定を行う先読み判定手段と、  
 前記先読み判定手段の判定に基づいて演出を行う先読み演出手段と、を備え、  
 前記先読み演出手段は、

30

前記当り遊技中の前記保留記憶内に前記先読み判定手段により前記当りが有ると判定された場合、前記当り遊技中、前記保留記憶内に前記当りがあることを示唆する保留連荘予告演出を行い、その後、前記保留記憶内に前記当りがあることを確定させる保留連荘確定演出を行い、

所定の前記当選確率が設定されている状態で、前記当り遊技中の前記保留記憶内に前記先読み判定手段により前記当りが無いと判定された場合、前記当り遊技中、前記保留連荘予告演出を行うが前記保留連荘確定演出は行わない

ことを特徴とする弾球遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、遊技領域に設けられた始動口への遊技球の入球に起因して所定の乱数を抽出し、抽出した乱数を保留記憶として所定の上限数まで記憶する保留記憶生成手段と、前記乱数に基づいて当否判定を行う当否判定手段と、該当否判定手段による当否判定の結果が当りの場合に大入賞口を開放する当り遊技を実行する当り遊技制御手段と、相互に異なる複

50

数の前記当選確率を備え、確率設定スイッチの操作に基づいていずれかの当選確率を設定する確率設定手段とを備えてなる弾球遊技機において、  
前記乱数を前記当否判定手段よりも前に判定を行う先読み判定手段と、  
前記先読み判定手段の判定に基づいて演出を行う先読み演出手段と、を備え、  
前記先読み演出手段は、

前記当り遊技中の前記保留記憶内に前記先読み判定手段により前記当りが有ると判定された場合、前記当り遊技中、前記保留記憶内に前記当りがあることを示唆する保留連荘予告演出を行い、その後、前記保留記憶内に前記当りがあることを確定させる保留連荘確定演出を行い、

所定の前記当選確率が設定されている状態で、前記当り遊技中の前記保留記憶内に前記先読み判定手段により前記当りが無いと判定された場合、前記当り遊技中、前記保留連荘予告演出を行うが前記保留連荘確定演出は行わない  
ことを特徴とする弾球遊技機である。

10

20

30

40

50